

---

# 時を越えるフルーツ

青空

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

時を越えるフルート

### 【Nコード】

N6284I

### 【作者名】

青空

### 【あらすじ】

ある日不思議なフルートを見つけたミキ、そのフルートを吹いた瞬間、  
ミキは異空間へと消えていった。

## フルート

ある雨の日、私は不思議な「光る物」を見つけた、洗ってみるとフルート（らしいのだ）。

洗う前こそ泥だらけだったが、洗ってみるとキラキラ光るダイヤモンドのような輝きを放つフルート・・

そしてこのフルートを見つけたのは、この私、ミキ。

前からフルートが欲しかった私、早速吹いてみることにした。

「

音が鳴らない。しかしミキはフルートを吹くことが難しいのを知っていた。

それから何回も何回もフルートを吹く練習をした。

．．．すると．．．

「ホオ」

音が鳴った。と、同時に体が中に浮くような違和感。

「つつキヤー」

なんと、ミキは異空間に行ってしまった。

続く

## フルート（後書き）

初めまして、青空です。初めての小説なので皆さんよろしくお願  
い  
します。

## 出合

目を開けてもいいのだろうか。

相変わらず違和感は続いていたが、そんなことをミキは思った。

恐る恐る目を開ける。そこには真っ暗闇が広がっていた、光といえ  
ば所々流れていく白い光しかない。

．．．．フルートは何所だろう．．．．

ふとそんな事を思い出した。周りを見回す．．．が、見つからない。

諦めたその時、大きな白い光が周りを囲む．．．．

ドスン

どうやら落ちたようだ．．．が、目を開けた時に見えた景色にミキ  
は啞然とした。

疲れ果てた人々が溢れ返った道、見て言葉を失わない人はいな  
いだろう。

ココは何所なのかミキは聞きたかったが聞けそうに無い雰囲気だ。

ミキが当ても無く歩いていると・・

トントン

誰かが肩を叩いた、ミキが振り向くと少年がいた。が、その少年の雰囲気は周りの人々とは全然違うものだった。

「君はフルートを探しているでしょう。」

と、急に少年が言った。ミキはビックリして、「どうして知っているの?」  
と聞いた。しかし少年は言わなかった。

その代わりに少年が言ったのは・・・

「僕の名前はユウキこれからよろしく。」

・・・・「よろしく???」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6284i/>

---

時を越えるフルート

2010年10月9日23時54分発行